

【アジアU-22ハンドボール選手権】

2019年7月14日～7月21日 香港

試合結果報告 7月16日 (火)

JAPAN	vs	チャイニーズタイペイ
16	1st	8
17	2nd	13
	ex	
	ex	
33	TOTAL	21

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	羽諸 大雅					0
2	伊藤 聖哉	1				1
3	山口 勇樹	2				2
4	中川 翔太	4	2			6
5	山田 信也		2			2
6	保利 憲之朗	1				1
7	川上 勝太		2			2
8	中元 来					0
9	阿部 奎太					0
10	松岡 寛尚		3			3
11	山本 晃大	1	1			2
12	高光 凌					0
13	安永 翔		1			1
14	土屋 健介					0
15	高橋 翼		3			3
16	河原 脩斗	7	3			10
TOTAL		16	17	0	0	33

戦況

U-22チームの初陣は、初戦のシンガポール戦で個人能力の高さとフィジカルの強さで圧倒的な強さをみせたチャイニーズタイペイ。特に左利き3人を擁するセットOFの攻撃は注意しなければならない。

試合は日本のDFからスタート。序盤から日本は約束事であるハードコンタクトで相手の攻撃を止め、リズムを作る。そこから河原、中川、山口の速攻で3連取。チャイニーズタイペイはセンターWu(No.7)を起点に攻撃を組み立て、前半10分6-4とするも、前半途中出場したGK高光の好セーブから一気に6連続得点。ゲームの流れを一気に日本へ引き寄せる。

相手の6-0DFと3-2-1DFに対しては、キャプテン山本が冷静に攻撃を組み立て得点を挙げていく。日本は安定したDFと河原、中川の活躍で前半16-8で折り返す。

後半、日本は6-0DFから5-1DFにDFシステムを変更。個々の1対1の強さと運動量でチャイニーズタイペイのOFミスを誘い速攻につなげる。OFでは前半見られなかった、相手の裏のスペースを利用した攻撃で得点を積み重ねていく。途中出場した川上、高橋、安永らも攻守に渡り役割を果たし、チームに勢いを与えた。

終わってみればベンチメンバー全員が試合に出場し、33-21で初陣を勝利することができた。国際大会を初めて経験する選手が多い中で、選手一人一人が自分の役割を理解し、プレーすることができていた。

なお、この試合10得点を挙げた河原脩斗がベストプレイヤーに選出された。

報告記入者 :

加藤 良典